

平成29年第9回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成29年9月22日（金曜日） 午後1時44分から3時49分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・井上三枝
欠席委員の氏名	神山好子
説明員の職氏名	教育部長 関口正明・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 稲村浩之・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 関根俊介・高麗川南公民館長 飯島和雄
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	0人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第5号・議案第28号から議案第30号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 報告第5号 専決処理について  
原案どおり承認
- 議案第28号 市長の権限に属する事務の補助執行に係る協議について  
原案どおり可決
- 議案第29号 平成30年度当初教職員人事異動の方針について  
原案どおり可決
- 議案第30号 日高市社会教育委員の委嘱について  
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長の報告の要旨
  - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
  - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
 

【教育長報告関連】

(委員) 平成29年第3回日高市議会定例会一般質問で、図書館に中・高生向けの専用コーナーの設置についての考え方を問われているが、専用コーナーに置く本

の内容は。

(教育部長) 本屋大賞などで選出された本や、ビブリオバトルで人気の高い本などを専用コーナーに設けたいというものである。

(委員) 専用コーナーには、受験関連の本などは置くのか。

(教育部長) 受験関連の本については、特に予定していない。

(委員) 同じく一般質問で、男女共同参画の関係を質問されているが、その中で、男女平等教育の推進について問われているが、教育委員会として、男女平等教育という言葉をごどのようにとらえているか。

(教育部参事) ジェンダーという言葉が出てきて、生物学的な差ではなく、社会的な背景で作られた男女の性差について、国際的にもなくしていこうという方向である。その一方で、ジェンダーフリーという言葉については、非常に解釈が多様であり、社会的に作りあげてこられた制度までなくしてしまい、均一化した社会を目指そうという発想の方もいるなど、振れ幅が非常に大きいものであり、国でもジェンダーフリーという言葉は使わないようにしている。

学校における、男女平等教育についてまとめると、社会的に作られた男女の性差について、なくしていこうとするものである。それぞれが持っている特徴とか、将来の夢などを性差に関係なく実現できる様な社会を目指していくものである。

(委員) 義務教育の範囲の中で、社会的な男女の格差まで小中学生に教えて理解させられるのか。

(教育部参事) 小学生においては、男女の差を教えるというよりは、個々に仲良くしていこうという考えのもと、人権教育の一環で進めている状況である。中学生は、県の人権教育の資料などで、グループディスカッションをするなど取り組んでいる。

(委員) 大きな部分では、そういう話であると理解できるが、日高市の教育委員会としての方向性が見えない。

(教育部参事) 男女平等教育については、子どもたち一人一人が大切にされることなどが中心であり、人権教育の中での課題の一つであるという考えで進めている。

(委員) ひだかアリーナの運営状況(指定管理者制度)の報告について、導入の際の説明で、一番の目的がコストダウンと聞いていたが、運営状況としては、コストダウンとなっていないと思われるが、どういう考えか。

(教育部長) 単純なコストだけで見ると、負担額は増加しているが、サービスの向上と利用件数及び人数の増加によって、費用対効果は良いと考えている。

(生涯学習課長) 増加した経費の中には、直営の際には、常時配置が困難であったトレーニングルームへの増員など、サービス向上のための人的経費も含まれている。

(委員2) 利用人数が増えると、市の負担は増えていくのか。

(生涯学習課長) 委託料は決まっているので、増えることはない。

(委員) 小中一貫教育の関係で、施設分離型については、ハードの面が現状と変わらないので、小中一貫教育の良さが引き出せないのではないか。

(教育部参事) 今回の課題の整理については、事務局が検討したものであるが、整理したものを各校長に説明し意見を受けたところ、教員の相互関与など学校主導で出来る部分が多いのではないかと、また、状況を改善する方法など学校の裁量や工夫でいくらかでも考えられるという意見であった。今回、提示した課題等の整理(案)に意見を反映して、改めて提示する。

(教育長) 3つの類型で想定したが、それぞれの特性により工夫できるところなど、たくさんあると思う。小中学校が一貫して、地域をどのようにしていきたいかなどをコミュニティスクールなどにより、地域の意見を伺いながら進めていきたい。高萩北地区などは、現時点においても、小中学校と地域を含めた連携は、一番盛んにおこなわれているのではないかと。

(委員) 施設一体型については、小中学校のどちらかの校舎へ統合とあるが、改装費用などコスト面を考慮したものか。

(教育部参事) 具体的なコスト面の検証は出来ていないが、小中学生の体形差により、中学校の施設でないと出来ない授業があるため、基本的には中学校校舎へ統合するというのが一般的である。ただし、武蔵台地区においては、武蔵台小学校が、施設的にかなり余裕のある構造となっており、施設も新しく使用しやすい面が多いため、小学校への統合で想定したものである。

(委員) 小中学校の距離が離れているため、統合により、小学校低学年など通学距離が伸びる影響が出てくるのではないかと。

(教育部参事) P T A会長など、いろいろな意見をいただいているので、さらに検討していきたい。

(委員2) どちらかの学校を先行して実施してみて、検証していく方向が良いのではないかと。

(教育部参事) 教育委員の皆様などから様々なご意見をいただきながら、先行して進める地区を決めて進めていきたいと考えている。

(委員) モデル校で適しているのは、高萩小中学校区ではないかと。整備手法が中間であり、あまり施設の整備を必要とせず、環境も大きく変わらないので、良いと思われるが。

(教育部参事) いろいろなご意見を伺いながら、進めていきたい。

(委員) 高麗川南公民館の地域の特徴は。

(高麗川南公民館長) 高根地区となるが、高麗川団地と東急の団地については、新興住宅地というよりは、旧地区となってきた。高麗川団地については、若年層の転出入の動きはあるが、高齢者については、ほぼ固定となっているので、事業についても、高齢者が参加できる様な内容を設定している。

#### 【教育長報告：資料1関連】

(委員) 学力学習状況調査について、全国及び県と日高市との差は。

(教育部参事) 結果をまとめた資料については、改めて用意しますが、全国との差は、回答数で1問強の差がある。

(委員) 結果分析の際に、例えば、全国との差が大きく生じた問題がどのようなものか分からないとイメージがわからない。結局、日高塾やビブリオバトルなどへの参加率が低いことから見て、学習意欲が薄いことにつながっているように感じる。

(教育長) 生活態度は非常に良くなっているが、学習意欲については、確かに薄いと感じられる場面もある。学習意欲を向上させるのは、先生方の力が重要であるので、工夫しながら進めるようお願いしている。

(委員) 授業を見ていると、その日の課題などを教師が一方的に教え込んでいるという状況が見受けられる。子どもとの相互の関係性がないと感じたところである。

(教育長) こちらも課題として感じているところである。先生も課題研究や研修の参加なども少ない状況であり、先生方の指導力の向上、意識改革を図ることに尽きる。

(委員) 一方的に答えを教えるなど、テクニックを教えるだけでなく、問題の意味合いも教えていかないと意味がないものとなる。

(教育長) 教育委員会としても責任があるが、教科研修などの場が少ない状況である。近隣市などと共同でできるような制度も考えていければ良いと考えている。

(委員) 日高塾について、良いことだと思うので、もっと活用できると良い。

(教育長) 地区により児童の取り組み方に差がある状況であるが、さらに充実させていきたい。

(委員) 日高塾の教え方は、児童が持ってきた質問に答えるような方式なのか。

(教育長) 教え方については、先生によりいろいろである。

(委員2) H i p e r—Q U等をそれぞれ効果の検証をし、学力向上に生かしてほしい。また、単純に点数を上げるような学力向上については、明確な数値目標を掲げた方が良いのではないか。学力向上策について、取り組んでいる内容を3年程度のスパンで効果の検証をし、取捨選択をしていく必要があると考える。

(委員) 指導主事がもう少し、現場に行って指導したほうが良いのではないか。本来、事務をするための職員ではなく、指導する立場であるのではないか。

(教育長) 現状、事務量が増加しているため、なかなか現場対応ができていなかったが、積極的に現場での指導をするように努めたい。私自身も現場に行き確認することを心掛けており、実際、現場を見る機会をふやしているところである。

(委員) 校長が別の学校へ見学に行き、他の学校の状況を見に行くことも良いのではないか。校長の交換見学会のようなことをすると活性化になるのではないか。

(教育長) 交換見学について、実施の方向で考えていきたい。

(委員) 広島市平和記念式典派遣事業について、現地へ連れていくことは大変であり、数を増やすのは難しいと思うが、啓発は続けてほしい。

(学校教育課長) 派遣された児童が、学校へ戻り様々な形でほかの児童に伝えた状況である。授業などでも関連する映像などにより啓発している。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第5号、議案第30号については、非公開のため記載せず

##### 議案第28号

(委員) 飯能寄居バイパスが、北平沢運動場を分断することにより、従来の活用方法から何が変わってしまうのか。

(生涯学習課長) 従来は、野球場が2面活用できたが、分断によって1面分の面積も取れなくなってしまった。残地の形状と面積を考慮して、できるだけ費用をかけた活用方法を検討していくものである。

##### 議案第29号

(委員) この方針によって、日高市のタイトな職員配置状況が変わるのか。

(教育長) 新採用の教員について、3年から5年で必ず異動させることとし、従来、優秀な教員が校長の希望により、固定化されることで優秀な人材が回ってこない場合もあったが、必ず異動となるので、従来のようなことはなくなってきた。

#### 5) その他

##### (1) 次回定例会の日程等について

- 10月定例会：10月25日（水曜日）午後2時00分から 委員了承
- 11月定例会：11月16日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

##### (2) その他連絡事項

- 市内小学校（高麗川・高萩・高萩北）運動会  
9月24日（日曜日）【各小学校】
- 各地区体育祭
  - 武蔵台横手台地区 9月24日（日曜日）
  - 高麗川地区・高萩北地区 10月1日（日曜日）
  - 高萩地区・高根地区 10月8日（日曜日）
  - 高麗地区 10月9日（月曜日）
- 各公民館文化祭
  - 高萩北・武蔵台公民館 10月14・15日（土・日曜日）
  - 高麗公民館 10月29日（土・日曜日）
  - 高麗川・高麗川南・高萩公民館 11月4・5日（土・日曜日）
- 入間地区教育委員会連合会理事会・研修会  
10月23日（月曜日）【坂戸市文化会館ふれあ】
  - 理事会 午後2時から
  - 研修会 午後3時から